真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	地域公民館活動奨励事業		担当課・係	教育委員会　生涯学習課　生涯学習係
政策名　No	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	4	生涯学習の推進		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	市民講座参加者延べ人数	人	23321					
	公民館事業参加人数	人	185931					
	図書館の貸出延べ人数	人	93699					

事業内容

166館の地域公民館において、地域における学習や活動が積極的に展開されるよう、地域公民館活動を推奨する。市公民館各分館は、地域公民館との連携により地域活動が活性化していくための活動の場を提供し、つながりづくりを行う役割を果たす活動を行う。
　自治会や町内会など身近な地域活動の拠点として、生涯学習と創造の場、集会の場、地域課題の解決の場として、大きな役割を担う地域公民館の活動を推奨及び支援する。

・公民館活動を奨励する奨励金を交付する。
・地域公民館を新築、増改築または修繕、災害復旧する場合、事業に要した経費の100分の35以内（上限400万円）を補助する。
・地域公民館を新築または増改築する場合、事業費の100分の60以内（上限1,000万円）を貸し付ける。
・全国宝くじ普及広報事業費を財源として、地域公民館が物品を購入する場合の助成事業を実施する。
・地域公民館連絡協議会が主催し、各地域公民館を対象に花いっぱい運動を実施し、優秀館を表彰し、地域のコミュニティの活性化を支援する。

前年度の課題（Check）

・花いっぱい運動事業について、参加館数が全体の3分の1を切っている状況であるので、事業のあり方について検討が必要。
・役員研修が宿泊を伴うので、日帰り研修へ変更を検討
・館長研修が市バスの規定人数に満たなかったため中止。行先や内容について要検討。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

地域公民館活動奨励費補助金　地域公民館連絡協議会活動費補助金
地域公民館建設増改築補助金　地域公民館建設等資金貸付金
花いっぱい運動事業　地域公民館まつり開催補助金
地域コミュニティ事業　自治総合センター宝くじ助成事業
地域公民館整備用原材料費（砂・砂利）　市地域公民館連絡協議会運営補助
【課題に対して】
地域のコミュニティ活性化に寄与しているため（老人会、育成会などの垣根を超えた事業）、また地域公民館活動を衰退させないためにも、継続。ただし、花いっぱい運動については、次年度に向けて実施方法を検討するとともに、特別賞の種類、対象公民館数の見直しをする。また、審査方法や種子や肥料の配布等、全体的な見直しを実施し、役員会で諮っていく。

【2】結果と課題（Check）

・花いっぱい運動事業について、参加館数が3分の1を切っている状況である（役員の高齢化、近年の異常気象による猛暑等）。事業の見直しを行うため、全地域公民館長へアンケートを実施した。結果、現状と同様に継続希望が3分の1、3分の2は「どちらでもよい、継続を希望しない」という結果であった。実施計画の市長査定において、令和8年度からの事業廃止が決定された。それを受け、令和7年度の市公連役員会において事業廃止を諮り、承認されたため、全地域公民館長へ令和8年度からの事業廃止の通知を発送した。

・役員研修が宿泊を伴うので、日帰り研修へ変更を検討

・館長研修が市バスの規定人数に満たなかったため中止。行先や内容について要検討。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

・コスト削減の観点から役員研修を日帰りに変更。
・館長研修については、参加人数が増えるように行先、研修内容等を検討する。
・役員の負担軽減のため、提出してもらう申請書類等を紙媒体とメールやオンライン申請等の電子媒体の両方で実施できるよう検討する。

(2) 長期的な計画で検討すること

・高齢化や、自治会加入率の低下に伴い、各地区の地域公民館連絡協議会、市地域公民館連絡協議会連合会の在り方を検討。